

日向小学校・山武西小学校統合準備委員会 第1回総務部会要点記録

1. 日 時 令和元年5月31日（金）18時01分から19時27分
2. 場 所 さんぶの森交流センターあららぎ館
3. 出席部会員 14名（欠席3名）
4. 次 第
 - （1）開会
 - （2）あいさつ
 - （3）議題
 - ①校名候補の選定について
 - ②その他について
 - （4）閉会
5. 事務局 学校再編推進室

議題についての概要は次のとおり。

①校名候補の選定について

【事務局の説明】

- 「山武市立小中学校規模適正化・適正配置基本計画」について
- 校名候補の選定について
- 新学校名選定の参考例
- 日向小・山武西小の沿革
- 松尾小と豊岡小の統合小学校の校名 応募用紙
- 学校統合準備委員会要点記録（平成29年度記録抜粋）
- 日向小学校・山武西小学校学校要覧
- 広報さんぶ（昭和59年1月1日発行号抜粋）
- 日向小と山武西小の統合小学校の校名 応募用紙

【発言の概要】

- ・松尾地区の統合時の方法を活用して広く意見を募り、その後に統合準備委員会で検討する方法が良い。
- ・松尾小学校と豊岡小学校は、それぞれ100年を超える歴史があるが、山武西小学校は日向小学校から分離独立して20年ほどである。日向小学校という校名を存続させることに、反対意見は出ないのではないか。山武中学校の校名が決定した経緯と同様で良い。
- ・山武西小学校では保護者を対象にアンケートを実施した結果、児童、保護者、地域住民など、多くの人が関わって決めてほしいという意見があった。結果として、校名が日向小学校になることはかまわないが、一度、公募をしてはどうか。
- ・学校統合において、元に戻るという感覚は、保護者や卒業生などの大人である。中学校の統合後、旧中学校単位的环境があるようである。どちらかの校名に偏ると、校舎は変わるが、小学校でも同じようなことが起きないか、懸念している。
- ・学校の歴史はわかるが、学校というのは在籍した児童、保護者の思いなど、いろいろなものがあり、長さにこだわらず統合した方が良い。結果として日向小学校という声が多いならそれで良いが、多くの人の意見を聞いたかどうかが大事である。公募後に統合準備委員会で検討する方法と、公募後に再度、意見を求める方法があると思う。まず一度、意見を聞かないと、話は進まない。

- ・山武市の西にある学校ということで、「山武西（さんむにし）小学校」も考えられる。年配者は「日向」にこだわるかもしれないが、若い人の意見、一般の人の意見を入れた方が良い。
- ・山武中学校の統合では、校名も校舎も「山武中学校」であるので、「山武中学校」のイメージがあるが、小学校の統合では、旧山武南中学校の敷地に新たに通うことになるので、一度、広く意見を聞いてはどうか。
- ・「山武中学校」という校名について、旧山武町以外の住民から意見はあるのか。
 - (事務局)もともとが旧町の名称であり、特に意見は聞いていない。
 - どちらかという、旧町村単位の名称の方が残ってほしいのではないか。
- ・現在の校名は除いた方が良いという意見と、現在の校名を使っても良いという意見があり、同じ公募でも、違う意見であると思う。公募するのは良いが、公募の後が大変だと聞く。単に公募をする、しないで決を採るのはどうなのか。
- ・松尾地区の統合では広く意見を聞いたが、それほどかけ離れた意見は出ておらず、地域のことを考えて提案されている。手間はかかるが、児童、保護者、地域住民の思いが出ることで、地域において意識が醸成されるのではないかと。いろいろな意見を聞いた方が良い。
- ・広く意見を聞こうという意見が多く、公募になるとは思うが、対象範囲はどこまでか。学区内が良いのだろうが、そこを絞り、意見が多い方法にすると良い。昔は校名について検討することがなかったが、現在であれば、意見を聞くことが必要なかと思う。
- ・松尾地区での公募の対象範囲は、どこまでか。
 - 児童、保護者、学区在住の住民とした。
- ・現在、公募が優勢となっているが、公募をしないケースには、どのようなものがあるのか。
 - (事務局)山武中学校の場合は、「山武中学校」という名称を中心に協議が行われたが、他の名称の意見もあった。他の自治体では、自治体内で1校に統合する中で自治体名の校名に決定したが、校歌や校章は新しくしたケースがある。
- ・まず、公募をするか、しないかを決めないと、話が先に進まない。公募の範囲、現在の校名を含める、含めないなどを項目に反映させるかは、別の問題である。
- ・山武西小学校で事前アンケートをしたが、保護者としては、最終的にはアンケートをしてほしいということで、最初から公募をしてほしいということではないので申し添える。
- ・公募をするか、しないかについて決を採りたいが、よろしいか。
 - 了承
- ・公募をした方が良いか、しない方が良いか、挙手をお願いする。
 - 公募をした方が良い：12名
 - 公募をしなくて良い：0名
 - ➡校名案は公募をする。
- ・(事務局)手を挙げなかった方の意見を聞きたい。
 - はじめに公募をしない方向で、統合準備委員会で選定した校名案をアンケートにかけるのかということもある。最終的に得票数で選ぶのかどうかということもあり、結果的には、統合準備委員会で検討をしなければならない。
- ・公募の対象範囲は、学区内在住者でよろしいか。挙手をお願いする。
 - 学区内在住者で良い：全員
 - ➡対象範囲は、学区内在住者とする。
- ・対象範囲について、意見はあるか。
 - 児童、保護者、地域住民で良い。卒業生の扱いが話題になったという意見があったが、地域

住民には卒業生の家庭が含まれると思うので、問題ないのではないかと。

- ・松尾地区と同様に、児童、保護者、地域住民でよろしいか。

→了承

- ・（事務局）公募の方法は、応募用紙、インターネット、ファックスなどを考えているが、意見を聞きたい。

→松尾地区での実績を活かし、同じような方法にすればいいのではないかと。

- ・新しい考え、若い人の考えを聞いたかどうかという意見が出ている。一度広く公募し、そこから統合準備委員会で話し合うのか、または、再度問いかけるのかということは、次の段階で検討すればいいのではないかと。

- ・地域住民用の応募用紙であるが、松尾地区ではどのように配布したのか。

→（事務局）区長回覧のほか、公共施設への配布、市のホームページに掲載した。保護者へは、学校を通じて配付した。

- ・山武西地区では、回覧が回る家庭が半数ぐらいなので、やり方を考えないと難しいのではないかと。公募については、なぜ公募に至ったのかを記載しないと伝わりにくいので、もう少し、文言を加えた方がよい。

- ・今日の会議で詳細をまとめることになっているが、修正案を委員の電子メールアドレスに送付すれば、会議を開催しなくても話が進められる。

→（事務局）参集ありきではないと考えている。電子メールでの問い合わせは可能。

- ・松尾地区での校名案募集では、「新しい校名」という文言を入れると、現在の校名では応募できないと受け取られるかと思ったが、「松尾小学校」や「豊岡小学校」の案も多く出ている。伝える方法を統一すれば、その心配はないと思う。

- ・地域配布用には説明があるが、学校配布用にも説明を入れた方がよい。子供たちは、応募結果がどうなるのかを知りたいはず。校名決定までの流れを簡単にしたものを入れれば、統一した説明ができるのではないかと。

- ・公募の対象範囲は学区内在住者ということであるが、幼稚園と保育園の保護者は、統合準備委員会委員であるので、こちらにも聞いてほしい。

- ・児童一人に対し1枚なのか、家庭で1枚なのか、統一する必要がある。

→（事務局）松尾地区では、児童一人に対し1枚とし、兄弟姉妹で意見が違っても良いとした。

どのような学校になってもほしいかという項目も入れた。

- ・保育園は学区が多岐にわたり、市外児童もいる。家庭数なのか、児童数なのかについては、一人につき1枚ということでも良いが、精査してほしい。

②その他について

【事務局の説明】

○議題①の検討結果について（確認）

○次回会議の日程について

【発言の概要】

- ・公募をすることで進んでいるが、取り方については決定していないということでもよろしいか。地域住民を対象に一人1票を募るというが、SNSなどいろいろな方法を使い、応募結果を見てから次にどうするかを判断した方がよい。学区を対象にするのは良いが、それほど絞る必要はないのではないかと。

→（事務局）本日の協議内容が反映されているかを、次回会議で確認していただきたい。

- ・学区から通っていること以外に、問題はあるのか。
→保育園児に対し、学区内外の区別で渡す、渡さないというのを誰がやるのか。アンケートの意味がなくなる。いろいろな意見を出してもらい、学区外からの意見については、参考にすればいいのではないか。
- ・松尾地区の場合、公募については市のホームページで周知したのか。
→（事務局）周知した。

【まとめ】

- ・校名案は、広く意見を聞くため、公募とする。
- ・公募の対象は、学区内在住者を基本とする。
- ・本日の意見は、応募要領及び応募用紙に反映し、学校へ修正案の確認を依頼する。その後、部会員へ確認を依頼する。
- ・次回会議は、6月17日（月）に開催する。